

医学部後援会

■定例総会

平成 24 年 6 月 16 日（土）15 時～17 時、有山登記念講堂にて定例総会が開催され、三役会及び役員会で検討を重ねてきた下記事項が承認されました。（総会出席者：81 名）

1. 平成 23 年度事業報告及び決算報告、平成 24 年度事業計画及び予算案。
 2. 会則の変更について
 - (1) 第 5 条、「役員を選任」卒業時以外にも適時変更・見直し可能に変更
 - (2) 第 12 条、「総会」会員のスケジュール管理をしやすいよう、総会開催日を原則 6 月第 4 土曜日に設定。総会案内状送付の費用削減も踏まえ、ホームカミングデー参加学年以外の会員へは「後援会ホームページ」にて案内
 3. 平成 23 年度卒業生新役員下記 5 名選任（敬称略）

中村宏、長澤龍司、成井浩司、樋口直史、松澤泰
 4. 報告事項
 - (1) 後援会活動について
総会案内などの資料送付不要の回答者があり、また会費未納者も含めて、会員資格の見直しを今後検討する件
 - (2) 後援会事務局設置
後援会の事務担当者が順天堂を定年退職したことに伴い、大学にご配慮をいただき医学部事務室内にスペースをお借りし、引き続き木村氏に後援会事務を業務委託した件
 - (3) ホームカミングデー招待者に卒後 1、3 年を追加し、卒後間もない方々に後援会活動の理解と参画意識の向上を図った件（従来は卒後 5、10、15、20 年）
 - (4) 順天堂 175 周年に向けて、後援会として大学への協力方法を今後検討していく件
 - (5) 東日本大震災に関し、後援会会員見舞金の処理結果報告の件
- ・総会終了後、有山登記念講堂食堂にて懇親会・ホームカミングを開催し、会員相互の交流を深めることができました。

■父母会・新役員歓迎会に参加

平成 24 年 7 月 21 日（土）、父母会の新役員歓迎会が赤坂維新号にて開催され、白岩会長、中村・平野副会長、岩波役員が参加しました。

後援会の存在意義、父母会との連携の必要性など多いに語り、相互の紐帯強化の一助になりました。

■三会同懇談会へ出席

大学から新井医学部長のご出席をいただき、8 月 27 日（月）「医学部同窓会・父母会・後援会」

三会の第5回懇談会が山の上ホテルで行われました。会は関係者13名が集まり午後6時から約2時間にわたり行われ、後援会からは吉川・平野副会長、河本監事の3名が出席しました。

新井医学部長から、創立175周年を迎え進行中の本郷キャンパス再編成につき進捗状況、最終構想などをご説明いただきました。創立175周年に対する協力は、後援会としても6月16日に開催された平成24年度総会で承認を得た事業計画の施策のひとつでありますので、順天堂の応援団としてさらに貢献していく活動が必要であることを再認識し、具体策の検討を進めていきます。

また、各会との意見交換では、後援会活動にご理解をいただくよう、①ホームカミングデーの参加学年を拡大したこと、②175周年を踏まえての学生のスポーツ・文化活動への支援、大学への寄付について検討していること、③「地域医療・学術奨励賞」の案内・募集要項を同窓会誌「茶崖」に掲載をお願いし、応募者掘り起しを図りたい旨説明したところ同窓会森近会長に快諾していただきました。

今後とも三会の連携を強化し、順天堂発展に三会協力して貢献することを確認しました。

(医学部後援会 会長 白岩 照男)